

**SOHORAID**  
**DR2-TB2S**

ユーザーマニュアル

## はじめに

この度はSTARDOM製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。当マニュアルは、STARDOM製品 SOHOTANK ST2 について説明をしております。お買い上げ製品をご利用頂く前に、本マニュアルをよくお読みください。本ユーザーマニュアルの記載内容は、出版前に十分にチェックを行っておりますが、実際の製品仕様はSTARDOMから出荷される製品を基本とします。製品仕様の更新や関連情報はwww.stardom.com.twに掲載されます。製品は予告なしに変更される場合がございます。STARDOM製品に関するご質問、最新の製品情報、ユーザーマニュアルやファームウェアのアップデートに関しては、現地の販売代理店にお尋ねになるか、www.stardom.com.twをご参照ください。

## 目次

1. 動作環境
2. パッケージ内容物及びに製品外観
3. ハードウェア要件と注意事項
4. ドライブの取り付け方法について
5. RAID モードの設定方法について
6. 前面部 LED について
7. ドライブの交換について
8. その他注意事項

## 1. 動作環境

動作温度: 10 ~ 35 °C (50 ~ 95 °F )

保管可能温度 : -20 ~ 47°C (-4 ~ 116 °F )

電源電圧 : 100 ~ 240V AC

## 2. パッケージ内容物および製品外観

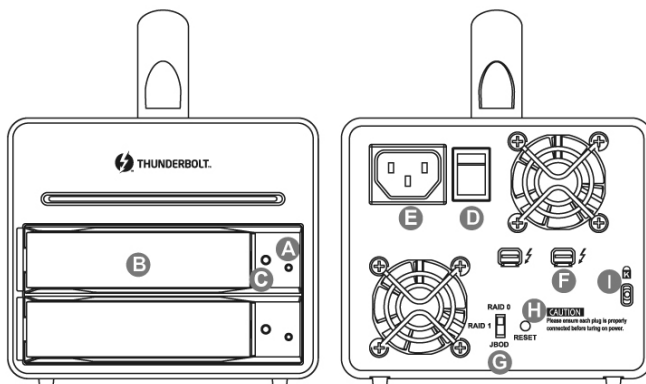
パッケージ内は以下の内容で構成されております。

DR2-TB2S
DR2-TB2 本体 x1
Thunderbolt ケーブル x1
電源コード x1
アクセサリキット x2
マニュアル CD x1
クイックインストールガイド
ハンドルパーツ x1
ハンドル固定ネジセット x1

※一覧の内容に欠品等が無いかご確認ください。

※本製品付属の電源コードは本製品専用です。他の機器ではご利用頂けませんのでご注意ください。

### 製品前面部・背面部



- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| A. HDD アクセス LED | F. Thunderbolt ポート |
| B. リムーバルトレー     | G. RAID モードスイッチ    |
| C. キーロック穴       | H. リセットボタン         |
| D. 電源スイッチ       | I. 盗難防止スリット        |
| E. 電源ソケット       |                    |

### 3. ハードウェア要件と注意事項

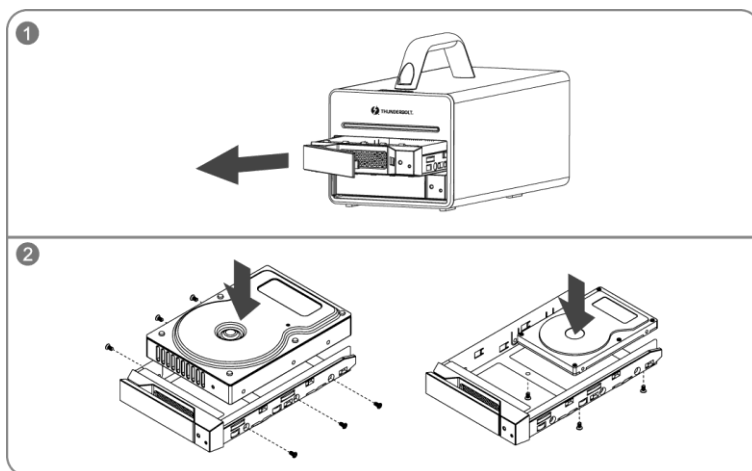
1. 本製品にハードディスクを搭載する際は、システムのエラーやデータ損失を防ぐため、不良セクタや故障がないことを事前にご確認ください。
2. 本製品をコンピュータから取り外す際は、必ずオペレーティングシステム上で「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってから取り外してください。
3. 本製品を使用して RAID を構築する場合、同じ規格、同じ容量のディスクを使用する事を強く推奨します。
4. 本製品で運用している重要なデータは、必要に応じてリモート又は別のストレージ装置等に定期的にバックアップを取ることを強くお勧めします。弊社は本製品の使用の際に生じたいかなるデータの損失およびに損失データの復旧に対して責任を負いかねます。

### 4. ドライブの取り付け方法について

以下の手順に従って、ハードウェアの取り付けを完了してください

Step 1 アクセサリーキット付属のキーをキー挿入口に差し込み、リムーバルトレイのハンドルを引き、トレイを取り出します。

Step 2 トレーにハードディスクを取り付け、アクセサリーキット付属のネジで固定します。

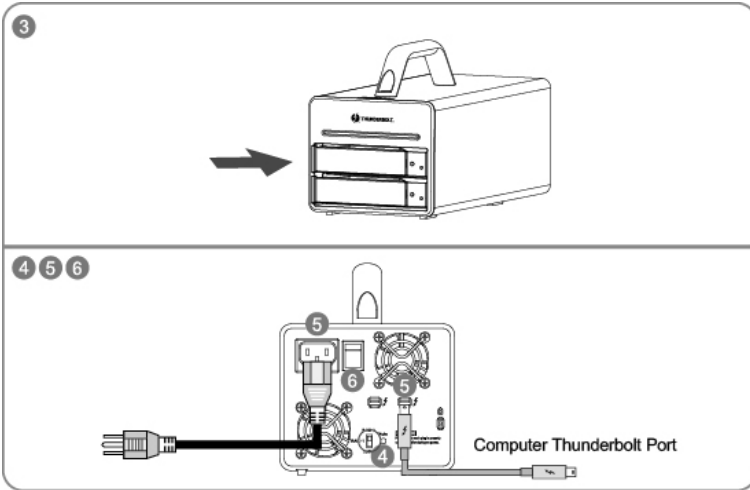


Step 3 取り付け完了後、ドライブトレイをドライブ位置に戻し、ハンドルを固定します。

Step 4 背面 RAID モードスイッチ位置が「JBOD」位置であることを確認します。.

Step 5 製品の電源ケーブルをコンセントに接続します。

Step 6 電源の入っているコンピュータと本製品を Thunderbolt ケーブルで接続し、本製品の電源スイッチを ON にします。製品の電源が入り、起動します。



Step 7 a.電源 ON 後、製品の LED が赤→消灯→青と点灯し、使用準備が完了します。

b.新規 HDD 導入時等、電源 ON 後に LED が赤と青の点滅を繰り返す場合は、製品背面のリセットボタンを付属のトレイ用キーパーツの先端で 3 秒程、LED が青点灯に変わるまで押し続けます。LED が青点灯に変われば使用準備が完了です。

Step 8 使用準備が完了後、JBOD(個別認識)で使用する場合はこのまま使用できます。未使用の HDD を搭載している場合は OS 上でフォーマットして下さい。RAID モードを変更する場合は、5.RAID モードの設定方法についてに進んで下さい。

## 5. RAID モードの設定方法について

RAID モードを設定する場合、既に使用している HDD を搭載する場合は、事前に HDD をフォーマットしてから搭載する事をおすすめします。

【JBOD (個別認識)】：二つの独立したボリュームで認識します、データ保護機能はありません

【RAID 1】：2 台の HDD に同時に同内容のデータを書き込む事により、搭載 HDD が 1 台物理的に故障した場合に、故障 HDD を交換によりデータを再構築する事ができます。認識される HDD の容量は 1 台分となります。注) 搭載 HDD が 2 台同時に故障した場合データの再構築はできません。 .

【RAID 0】：高速・大容量ストレージが構築可能なパフォーマンスを重視した RAID モードです。データ保護機能はありません。

### 《RAIDモード切替方法について》

Step-1: 電源が ON の状態のコンピュータに接続し、製品の電源が入っており、LED が青点灯である事を確認します。

Step-2: RAID スイッチを使用したいモードに切り替えます。

Step-3: アクセサリキット内のトレーキーパーツを使用し、背面のリセット ( RESET ) ボタンを押します。LED が赤-青の点滅表示から 青の点灯に変わるまで待ちます。

Step-4: 製品の電源をオフにし、再度オンにします。これで RAID モードの設定は完了です。OS のディスクユーティリティでフォーマットを行って下さい

注) もしも異なる容量の HDD を搭載し、RAID0 又は RAID1 を設定した場合、ST2 上で認識される容量は、サイズの小さな HDD の容量が基準となります。

\*\* 例: 1TB と 2TB の容量の HDD を搭載した場合、RAID1 の場合は合計容量が 1TB、RAID0 の場合は合計容量が 2TB として認識をされます。

### RAID モード変更時の注意

RAID モードを変更する場合、搭載された中のデータは全て消去されます。RAID モードを変更する前に重要なデータ等は必ず事前にバックアップをしてから切り替えを実行して下さい。

## 6. 前面部 LED について

状態	HDD LED 状態
Power ON 時 HDD が搭載されていない、又は HDD が物理的に故障	赤色点灯
Power ON 時 両方のスロットにディスクが搭載（アイドル状態）	青色点灯 t
RAID1 リビルディング時（構築元となるドライブ側）	青色ゆっくりと点滅
RAID1 リビルディング時（構築されるドライブ側）	紫色点灯

## 7. 搭載ドライブの交換について

製品ご利用時に、故障したドライブの交換が必要となった場合、4.「ドライブの取り付け方法について」をご参照ください。RAID1モードに設定をしている場合は、ドライブを交換後、コンピュータに接続された状態で暫く時間が経つとDR2は自動的にデータ再構築を実行します。再構築が始まると構築元となるドライブのHDD LEDがゆっくりと青色点滅、構築先となるドライブのHDD LEDが紫色点灯になります。再構築が完了すると、両ドライブLEDが青色点灯に変わります。

注意:リビルド作業はコンピュータと接続時のみ行われます。又、リビルド作業中はST2にアクセスを行う事が可能ですが、パフォーマンスが低下をするため、お勧めできません。又、ST2 では、データ再構築および検証処理中のシャットダウンが可能です。それでこれらの処理中に電源をオフにした場合、次回電源をオンにするとシステムは残りの処理を自動的に行います。いずれの場合も、ドライブ位置を交換しないでください。

## 8. その他注意事項

1. 本製品はコンピュータと接続をされていない場合、及びにコンピュータ側の電源がオフの場合、スリープモードとなります。
2. コンピュータ側がスリープモードに入ると、本製品もスリープモードとなります。
3. 既に利用済みのHDDを本製品で使用する場合、もしも他のRAIDケース等で使用をした事のあるHDDの場合は、RAIDモードを構築する前に一度JBODモードで個別にHDDをフォーマット後、RAIDのモードを構築する事を強く推奨します。



<http://www.stardom.com.tw/>

